

平成 29 年度 2 月 17 日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No.40)
「実践女子大生のアルバイト」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「実践女子生のアルバイト事情」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は 50 サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学(担当:竹内光悦)」、「経営学(担当:篠崎香織)」、「マーケティング(担当:斎藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大生は、アルバイトに対してどんな意識を持っているのか 50 サンプルの実践女子大生から回答を得た。

アルバイトをしている人は 82%、していたが今はしていない人は 12%、したことがない人は 6%となった。ほとんどの人がアルバイトの経験があるという結果になった。

また、ひと月に入っているシフトの回数とアルバイトをする上でのモチベーションは関連性があることが分かった。

次に、現在働いているアルバイト先がブラック企業だと思うか調査をしたところ、ほぼ当てはまらないが一番多かったため、仕事が大変だからブラック企業だという関連性はあまりない事が分かった。

調査結果のポイント

(1) アルバイトをしている人は 82%

アルバイトを「している」と答えた人は 82%、「していたが今はしていない」と答えた人は 12%、「したことがない」と答えた人は 6%となった。ほとんどの人がアルバイトの経験があるという結果になった(図 1)。

(2) アルバイトにやりがいを感じているからこそひと月に入るシフトの回数が多い。

アルバイトにやりがいを感じているか、という質問に対して、「非常に当てはまる」と答えた人が13%、「ほぼ当てはまる」と答えた人が57%、「どちらでもない」と答えた人が17%、「あてはまらない」と答えた人が11%、「当てはまらない」と答えた人が2%であった。ほぼ当てはまるが一番多かった。ひと月に入っているシフトの回数で回答が多かったのは、「月8~9回」が28%、「月10~11回」は19%、「月12~15回」が26%、「月16回以上」は6%だった。入っている平均回数を8回とすると、79%の人が8回を超えている(図3)。

(3) 仕事が大変だからブラック企業というわけではない。

仕事は大変ですかという質問に対して、「ほぼ当てはまる」と答えた人54%、「どちらでもない」と答えた人が22%だった。「非常にあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた人は全体の67%を占め、仕事は大変だと感じている人が多いことが分かった。しかし、あなたの勤めるアルバイト先はブラック企業だと思いますかという質問に対して、「非常にあてはまる」と答えた人は8%、「ほぼあてはまる」と答えた人は15%、「どちらでもない」と答えた人は24%、「ほぼあてはまらない」と答えた人は33%、「全くあてはまらない」と答えた人は20%で、ほぼあてはまらないが一番多かった。単純に仕事が大変だからブラック企業だと考えている人は少ないことが分かる。

(4) ブラック企業の定義は「残業代が支払われない」

ブラック企業の定義は何ですかという質問に対して、「残業代が支払われない」と答えた人は55%と一番多かった。就職活動をする上でも、残業についてしっかりと見る必要があるようだ。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象： 実践女子大生3年~4年生(短大生含む、渋谷キャンパス在生)
2. 調査方法： 質問紙によるアンケート
3. 調査期間： 2016年12月
4. 有効回答者数： 50人

本調査担当チーム

実践「ペルソナ」研究会

3年 本田安紗美

3年 松本美緒

3年 山田夏帆

調査結果データ

1. アルバイトをしているかアンケートをとったところ、「している」と答えた人は82%、「していたが今はしていない」と答えた人は12%、「したことがない」と答えた人は6%となった。ほとんどの人がアルバイトの経験があるという結果になった。

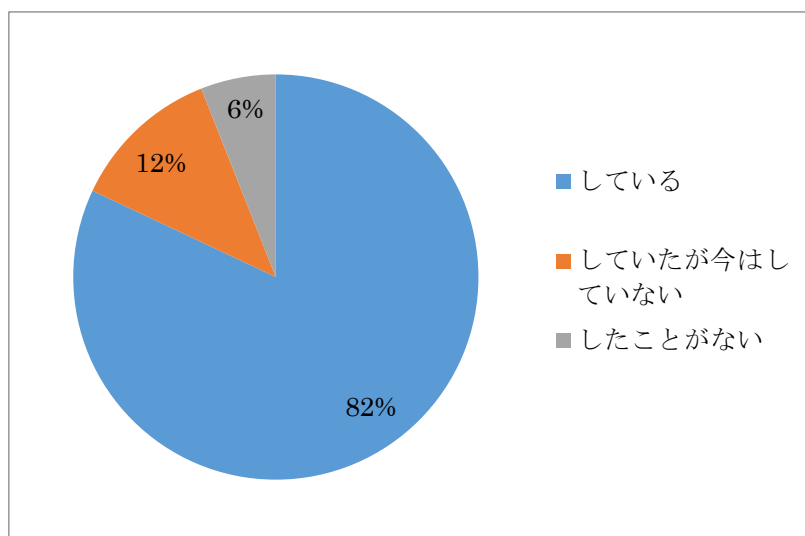


図1 アルバイトをしていますか (n=50)

2. アルバイトをしている人の、アルバイト先の業種は何かという質問に対しては、「飲食」が45%、「販売」が38%、「サービス」が2%、「レジャー」が2%、「事務」が2%、「教育」が2%、「その他」が9パーセントという結果になった。細かい分類としては、「飲食」がファミレス・レストラン・居酒屋・カフェ・食品製造などで、「販売」はアパレル販売、コンビニ、スーパー、書店などだ。「サービス」は、ティッシュ配り、冠婚葬祭関連、警備員など。「レジャー」は、イベントスタッフ、カラオケ、ホテルスタッフなど。「事務」は、一般事務、電話対応など。「教育」は、塾講師、家庭教師などだ。

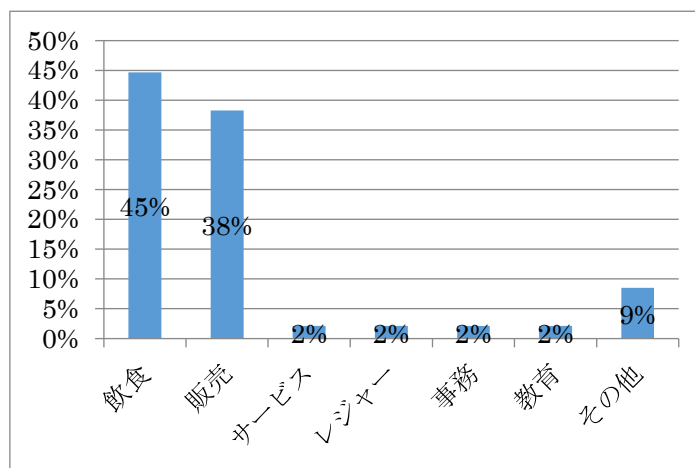


図2 アルバイト先の業種は何ですか (n=47)

3. ひと月にシフトはどのくらいはいつているかアンケートをとったところ、「月1~3回」は0%、「月4~7回」は17%、「月8~9回」は28%、「月10~11回」は19%、「月12~15回」は26%、「月16回以上」は6%、未回答が6%だった。「月8~9回」が一番多く、二番目に多いのは「月12~15回」だった。

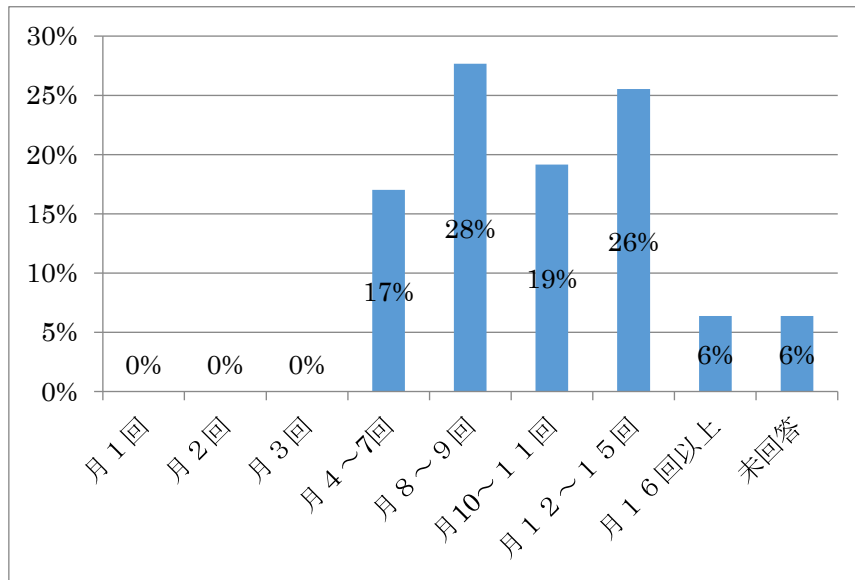


図3 シフトはどのくらいはいつていますか (n=47)

4. 一回に入るシフトはどのくらいかアンケートをとったところ、「4時間」と答えた人は7%、「5時間」「6時間」と答えた人は32%、「7時間」と答えた人は19%、「8時間以上」と答えた人は4%であった。「5時間」と「6時間」と答えた人が最も多く、次に多かったのが「7時間」であった。

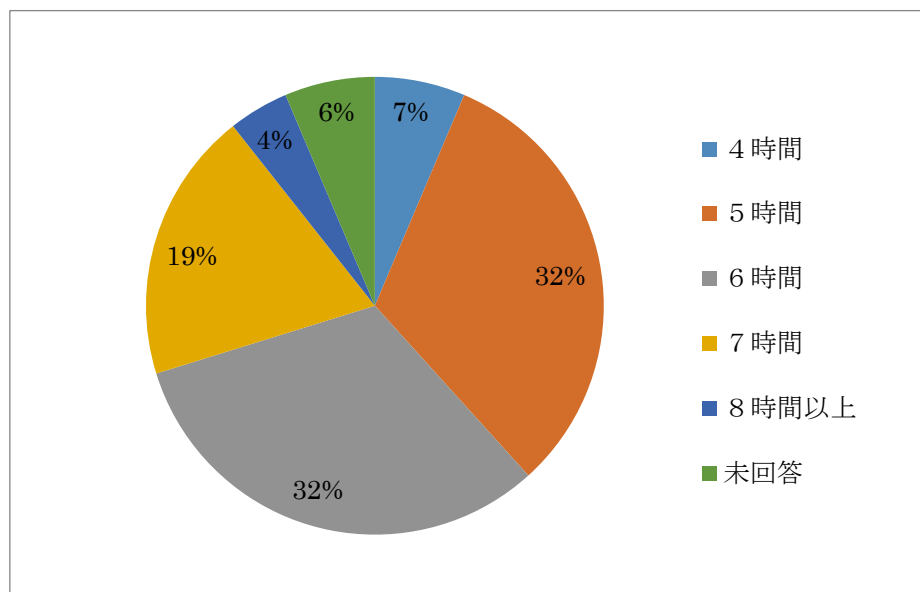


図4 一日の勤務につき何時間働きますか (n=47)

5. アルバイトをやるにあたってのモチベーションは何ですか?という質問に対して、「給料」と答えた人が68%、「職場の雰囲気」と答えた人が19%、「やりがい」と答えた人が11%、「上司の評価」と答えた人が0%であった。「給料」と答えた人が最も多く、次に多かったのは「職場の雰囲気」であった。上司からの評価と回答した人はおらず、アルバイトをしている人にとって上司からの評価がモチベーションにはつながらないことがわかった。

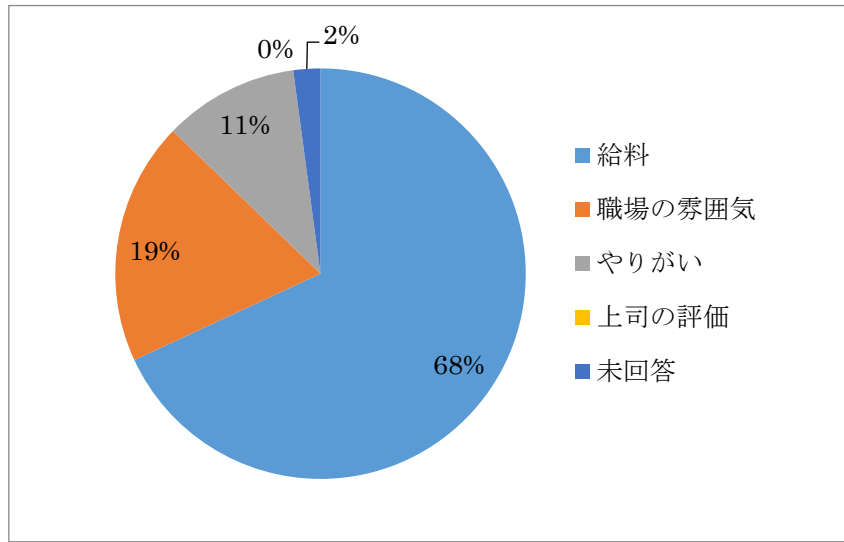


図5 アルバイトをやるにあたってのモチベーションは何ですか (n=47)

6. アルバイトにやりがいを感じていますか?という質問に対して、「非常に当てはまる」と答えた人が13%、「ほぼ当てはまる」と答えた人が57%、「どちらでもない」と答えた人が17%、「当てはまらない」と答えた人が11%、「当てはまらない」と答えた人が2%であった。

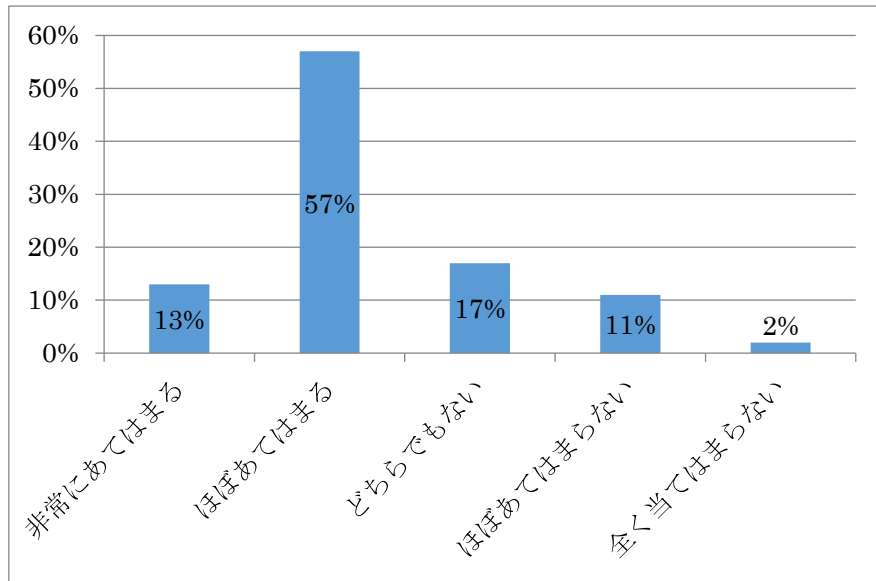


図6 やりがいを感じていますか (n=47)

7. Q1で「アルバイトをしている」と答えた人に、仕事は大変ですか？という質問に対して、「ほぼ当てはまる」と答えた人54%、「どちらでもない」と答えた人が22%、「ほぼあてはまらない」と答えた人が9%、「全く当てはまらない」と答えた人が2%であった。「非常にあてはまる」「ほぼあてはまる」と答えた人は全体の67%を占め、仕事は大変だと感じている人が多いことが分かった。

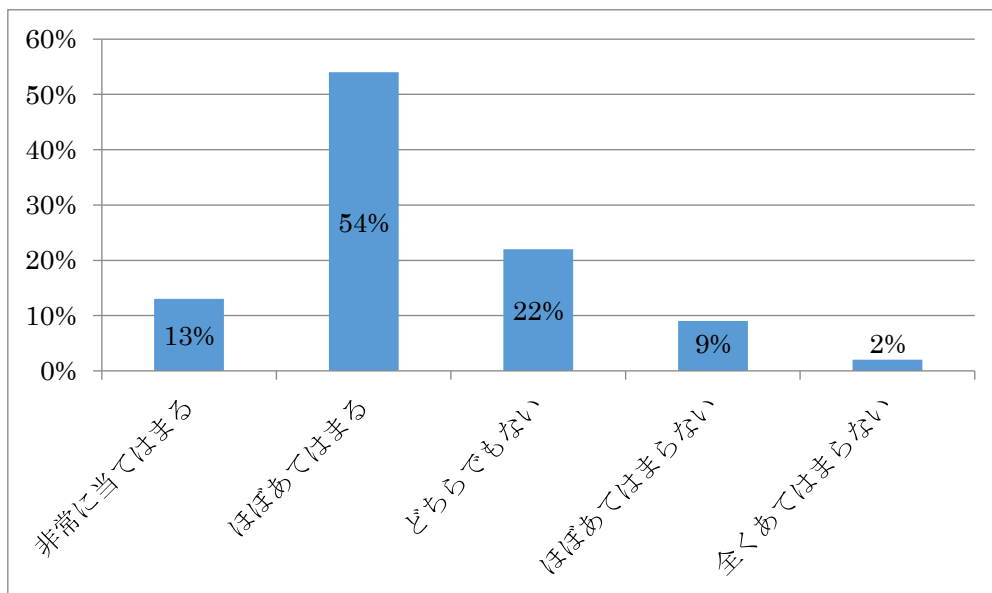


図7 仕事は大変ですか (n=47)

8. Q1で「アルバイトをしている」と答えた人に、あなたの勤めるアルバイト先はブラック企業だと思いますか？という質問に対して、「非常にあてはまる」と答えた人は8%、「ほぼあ

てはまる」と答えた人は 15%、「どちらでもない」と答えた人は 24%、「ほぼあてはまらない」と答えた人は 33%、「全くあてはまらない」と答えた人は 20%であった。

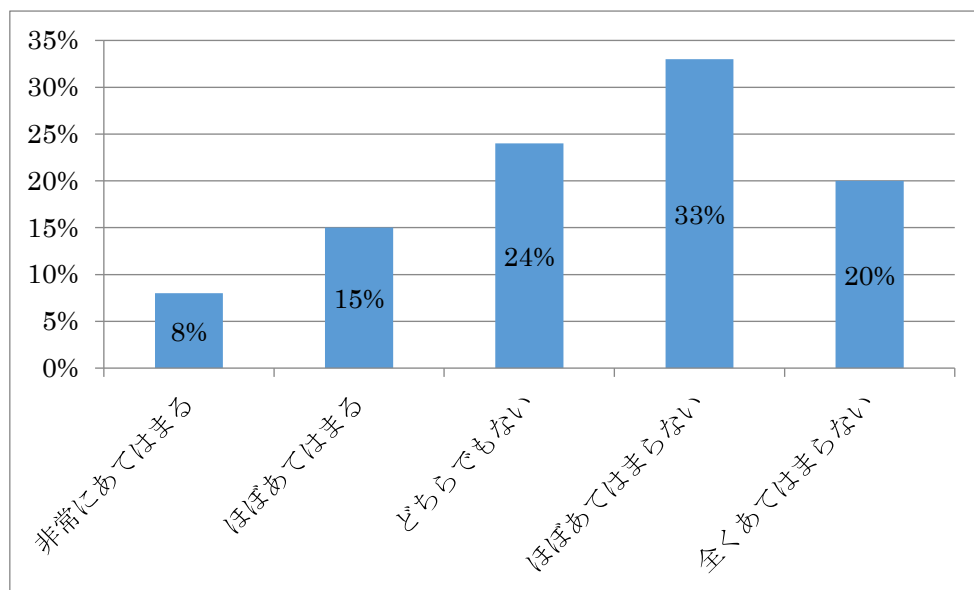


図8 あなたのアルバイト先はブラック企業だと思いますか (n=47)

9. ブラック企業の定義は何ですか?という質問に対して、「残業代が支払われない」と答えた人は 55%、「休憩がもらえない」と答えた人は 30%、「罰金の請求をされる」と答えた人は 9%、「パワハラやセクハラをされる」と答えた人は 4%、「その他」と答えた人は 2%であった。「その他」の回答の詳細は、「長時間労働」であった。

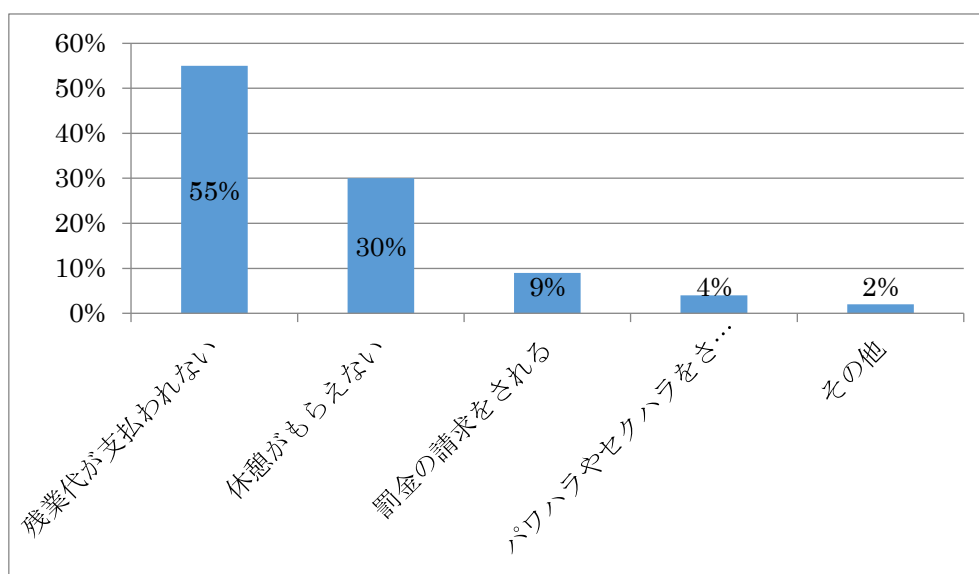


図9 ブラック企業の定義は何ですか (n=50)